

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業大学校費

事業名 男子寮給排水衛生設備改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農業大学校 総務課 電話番号：0574-62-1226

E-mail：c24405@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 142,904 千円 (前年度予算額： 6,774 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	6,774	0	0	0	0	0	0	6,000	774
要求額	142,904	0	0	0	0	0	0	128,500	14,404
決定額	103,218	0	0	0	0	0	0	92,800	10,418

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

農業大学校男子寮は、平成4年8月に建設され31年が経過している。トイレの配管については建築設備点検でも水漏れや排水の不良について指摘を受けており、県有施設中長期化保全計画でもタンク類、配管類の更新サイクルは30年とされている。

なお、男子寮配管等改修は中長期保全計画で当初は令和4年度実施で計画されていたが、令和6年度実施に計画を繰り延べたものであり、早急な修繕が必要である。

(2) 事業内容

男子寮の配管改修について令和5年度当初予算により実施設計費等を計上し、令和6年度に工事費等を計上する。

- ・ 建築工事 33,023千円
- ・ 設備工事 38,260千円
- ・ 工事監理委託 3,382千円
- ・ 公建事務費 492千円
- ・ 仮設備 28,061千円
- UD化分
- ・ 建築工事 23,789千円
- ・ 設備工事 14,052千円
- ・ 工事監理委託 1,845千円

- (3) 県負担・補助率の考え方
県10/10 (県公用施設であるため)

- (4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	344	事務費
燃料費	49	事務費
役員費	99	事務費
委託料	5,227	工事監理委託
工事費	137,185	建築工事、設備工事、仮設設備工事
合計	142,904	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (3) 農林畜水産業の活性化
 - ①農林畜水産業を支える人材の育成・確保
- ・ぎふ農業・農村基本計画
 - 第6章1-(1)-② 産地の実情に応じた多様な担い手の育成・確保
 - ・多様な人材の活躍 農業大学校の環境整備やカリキュラムの充実

(2) 国・他県の状況

岐阜県を含む42道府県が農業大学校を設置

(3) 後年度の財政負担

(4) 事業主体及びその妥当性

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

老朽化施設を改修整備することにより、学生の安全を確保するとともに、少子化時代にも選ばれる学校づくりをすすめる。

それにより、入学者を維持、卒業生を新たな担い手として育成し、多様な担い手づくりや売れるブランドづくりなど県施策の推進を推進します。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R4年度 実績	R5年度 実績/見込	R6年度 目標	終期目標 (R)	R4達成率
①入学者数	28人	28人	20人	30人	30人	93%
②卒業者数	25人 (R1)	21人 (R3)	27人 (R4)	30人 (R5)	30人 (R6)	70%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 学生寮内の小修繕については、寮生活に支障を来さぬよう適宜対応してきた。
	指標② 目標：30人 実績：25人 達成率：83%
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 学生寮内の小修繕については、寮生活に支障を来さぬよう適宜対応してきた。
	指標② 目標：30人 実績：21人 達成率：70%
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 建物内部の配管の腐食や漏水は顕在化しにくいため、施設の改修サイクルに合わせた改修を行い建物の長寿命化を図るとともに、各所の不具合について適宜対応し早期の修繕に努めることが必要である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 施設の老朽化について計画的に修繕を行っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】